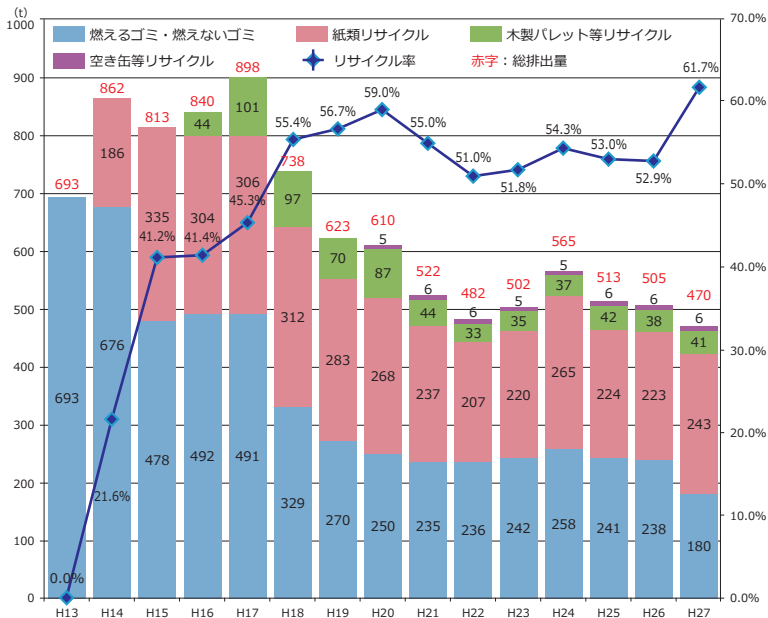




青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成28年5月31日

27年度の団地内リサイクル率は 過去最高の61・7%



ごみ収集・リサイクル回収実績

組合が取り組む資源リサイクル回収において、平成27年度のリサイクル率(総排出量に占める紙類・木製パレット・空き缶等リサイクル回収量合計)が過去最高の61・7%を記録した。

近年、企業の社会的責任(CSR)の一環として、環境活動への取り組みが求められている。当組合では、団地内から排出されるごみの量を削減すべく、資源のリサイクル回収に取り組んできた。平成14年に紙類のリサイクル回収をスタートさせ、平成16年に木製パレット、平成20年から空き缶・ペットボトル、

平成25年にはパソコンのリサイクル回収とメニューの拡充を行ってきた。

平成25年には「ごみ分別強化キャンペーン」を実施。ごみ収集及びリサイクル回収業者が収集時に、利用者に対し、ごみの正しい分別方法を指導し、更なるリサイクル率向上を図った。また、平成26年には組合員従業員や団地の近隣企業等から排出される空き缶やペットボトルを回収するため、リサイクル品回収BOXを組合会館に設置するなど、資源リサイクル活動を積極的に推進してきた。

その結果は如実に表れ、団地内から排出されるごみの量は、リサイクル回収実施前の平成13年度には693tあったものが、平成27年度には180tと、4分の1まで削減され、リサイクル率も6割を超えた。

また、資源リサイクル活動をはじめとする当組合の環境保全活動が認められ、平成25年度の青森市環境保全活動団体表彰を受賞した。

4月6日(水)には、昨年に

引き続き、平成27年度の空き缶・ペットボトル回収事業で得られた収益金50,000円を青森市社会福祉協議会へ寄付した。当日は、組合の西理事長が同協議会の前田会長に目録を手渡し、今後よりリサイクル事業を継続していく旨を述べた。

青森県全体で見ると、1人あたりのごみ排出量は3年ぶりに減少したものの、いまだ全国ワースト3位。リサイクル率も13・5%で全国最下位



紙類リサイクル回収



収益金を寄付



問屋町会館のリサイクル品回収BOX



木製パレット回収

という非常に厳しい状況となっている。青森市の1人あたりのごみ排出量は県内の市部では弘前市、むつ市に次いで多く、リサイクル率も11・3%と全国平均の20・6%を大きく下回っている。

ごみの減量化とリサイクル率の向上が重要課題となっている今、組合では、他地域の先進モデルとなるよう、今後も資源リサイクル回収事業に積極的に取り組んでいく。

第49回通常総会の提出 案件など承認

第1回理事会

第49回通常総会の提出案件などを審議する平成28年度第1回理事会が4月25日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは平成27年度塵芥収集及び紙類リサイクル等の回収実績、平成27年度交通事故実態調査結果、問屋町ビジネススクールの平成28年度上期カリキュラム、組

「不注意」による事故が 大半を占める

27年度交通事故実態調査

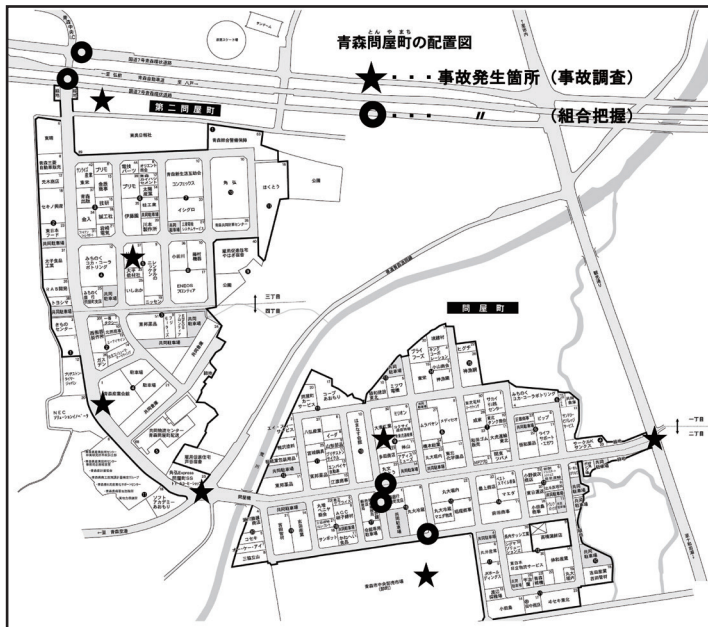
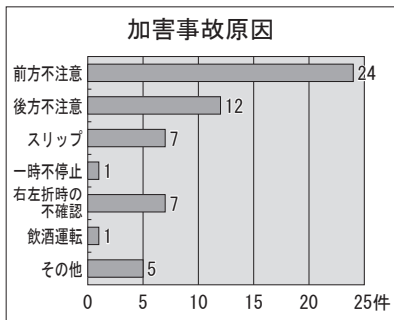
青森交通安全協会問屋町支部(多田支部長)で毎年実施している、交通事故実態調査の平成27年度調査結果がまとまった。

調査の結果、27年度の加害事故件数は57件と、前年度の66件より減少。加害事故のなかった無事故会員数も110社、79.7%(前年度78.1%)と、こちらも前年度よりわずかながらではあるが好転した。

事故要因についての調査では「前方不注意」が24件と最も多く、続いて「後方不注意」が12件、「右左折時の不確認」



昨年10月に発生した接触事故



7件と、不注意による事故が多く、その割合は75%を超えた。また、今回から事故発生時期についても調査。12月、3月の冬期間に事故が集中し、全体の6割を占める結果となった。

問屋町及び近隣においての事故件数は、調査結果と組み合わせかけていく。

今回の調査結果を活かし、同支部では「問屋町内交通死亡事故ゼロ7千日」(平成28年12月26日達成予定)を達成すべく、更に気をひきしめ、安全運転の励行を積極的に呼びかけていく。

ビジネスブックカフェ通信 vol.7

合員の脱退及び新規組合員加入について報告を行った。主な案件審議は次のとおり。

案件一 賃貸組合員の脱退について

案件二 「東北六魂祭2016青森」に係る協賛について

案件三 組合員跡地買取資金の借換について

案件四 第49回通常総会の提出案件について

青森県南部町在住の人気ビジネス書評家である聖幸氏のオススメするビジネス書を紹介するビジネスブックカフェ通信。第7弾で紹介するのは、ヘンリック・フェキセウス著『影響力の心理』(大和書房) ¥1,500(税抜)。

「ビジネス書のベストセラーで定番とも言える1冊に『影響力の武器』がありまだ、人間関係の構造を心理学的に説いた1冊ですが、ビ

ジスが把握しているものを合わせると計12件であった。

「弱みを見せたほうが信頼される。人は集団になると簡単に操られる。など、一見逆に見えるような心理テクニックが分

影響力の心理

ヘンリック・フェキセウス著
樋口真幸・訳

THE POWER GAMES

あなたは人を何秒で信用するか?

世界14カ国で
検証された
ベストセラー!

潜在意識で場を支配する方法

ネスは人間と人間の付き合いに始まり、人間関係で終わりますから、世界中のビジネスマンに読まれています。

本書の『影響力の心理』も数々の心理実験から導き出された科学的な人間関係のテクニックが満載です。例えば、

「弱みを見せたほうが信頼される。人は集団になると簡単に操られる。など、一見逆に見えるような心理テクニックが分

かりやすく解説されています。テクニックで人間関係をなんとかしようと思うのもどうかと思いますが、円滑な人間関係の一助になれば幸いです。(聖幸・評)

営業用食器・厨房設備・器具専門商社

株式会社 プリモ

青森店 青森洋食器
〒030-0113
青森市第二問屋町3丁目3番8号
Tel 017-739-9355 Fax 017-739-9359

食品・酒類卸

丸大堀内株式会社

〒030-0131 青森市問屋町2丁目15番22号
電話 017-738-4311

新規組合員紹介

▽(有)桂工業
代表者 桂木 敏介
業務内容 建設業
所在地 第二間屋町3丁目6-16
TEL 752-18730

組合員社名変更及び代表者変更のお知らせ

▽(株)日立物流東日本
(旧 東日本日立物流サービス(株))

代表者変更

▽(株)ENEOSフロンティア
代表取締役 吉川 志郎
▽(株)青森出版
代表取締役 吉川 健一
▽岩崎電気(株)
取締役社長 伊藤 義剛
▽(株)東北タンク商会
代表取締役 北川 和也
▽(株)レンタルのニッケン
代表取締役 村山 雅彦

組合員の皆様へお願い

組合では、組合員の代表者、社名、本社住所等に変更があった場合に、変更届の提出

をお願いしております。お手数ですが、変更がございましたら、事務局までご一報くださいますようお願いいたします。

連絡先

卸センター総務部
TEL 017-738-4711

業務報告

主要事項

4月
8日▽東北卸商業団地連絡協議会幹事会

- 9日▽大星神社敬神会
12日▽あおもりコンピュータ・カレッジ入学式
13日▽同友会第1回役員会
14日▽第1回問屋町合同清掃
15日▽金融審査会
18日▽第1回三役会
19日▽会計監査
20日▽問屋町支店長・所長連絡会第1回幹事会
25日▽第1回理事会
▽青森卸センター(株)第1回取締役会
▽青森問屋町配送(株)第1回取締役会
30日▽大星神社祈年祭・観桜会

問屋町ビジネススクール 講師紹介

今号では、28年度から問屋町ビジネススクールの講師陣に加わったキャリアカウンセラーの吉町氏による講師紹介をお送りする。



TCCマスター
キャリアカウンセラー
吉町 友美 氏

今年度、問屋町ビジネススクールで「今日から実践!職場におけるストレスケア研修」、「失敗から学ぶ!話を『聴く』スキル向上研修」、そして「失敗から学ぶ!チーム力の引き出し方」の3講座の講師を担当させていただくことになりました。

現在、私は若年者の就労支援を行うキャリア・カウンセラーの他、コミュニケーションやメンタルヘル

スのセミナー講師をしています。この仕事に迫り着くまでに、恥ずかしながら多くの転職をしてきました。
社会人としてのスタートはホテルマンでした。接客マナーの基礎やおもてなしの大切さを叩き込まれ、クレーム対応のスキルを磨くことができた現場でした。その後、学生時代からの憧れだったアナウンサーに転職。

このはできていないかもしれないし、話すことが苦手でも相手の話を聴くことはできていないかもしれません。聴くスキルはコミュニケーションの土台になります。傾聴スキルのポイントを押さえて実践することで、チームでの取り組みや人間関係が劇的に良い方向に変化するかもしれません。

(完)

Leaf
お庭の設計 (CAD)・施工・管理
青森市第二間屋町1丁目4-4 TEL 080-6058-3881

おいしいはつらつ
プライフーズ株式会社
青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町1丁目14-20
電話017-738-4381 ファックス (017)738-9414
本社 〒039-1121 八戸市卸センター1丁目11-8
電話0178-28-2154(代) ファックス (0178)28-8573

一般財団法人 青森市産業振興財団
限りなく夢が広がるイベントホール
青森産業会館
TEL 017 (739) 1811 FAX 017 (739) 1800
青森市はまなす会館
TEL 017 (738) 4821 FAX 017 (728) 2162
〒030-0113 青森市第二間屋町四丁目4番1号 TEL(017)739-1811 FAX(017)739-1800 http://www.infoamori.ne.jp/aosankk/

15年目を迎えた問屋町 合同清掃がスタート

今年で15年目を迎える問屋町合同清掃が4月14日(木)に行われた。

平成14年に参加者数48名でスタートした同活動は、組合員並びに関連企業の協力により年々参加者が増加し、今回は過去最高の239名が参加した。



集合写真
(問屋町)

問屋町合同清掃は4月から10月までの毎月第2木曜日、全7回行われ、ゴミの無い美しい街を目指し、活動を続ける。



合同清掃

樹齢350年を超える シダレザクラを楽しむ

4月30日(土)、当卸団地の氏神様である大星神社において、祈年祭及び観桜会が開催され、関係者や近隣住人など約90名が参加し、地域氏子



夜間は桜のライトアップを実施

の安泰と繁栄などが祈願された。同神社境内には樹齢350年以上といわれるシダレザクラがあり、市の桜の名所として知られている。夜間はライトアップもされ、数多くの市民が訪れていた。

新役員に聞く

今回から次号にわたり、先の総会で選任された新役員2名を紹介する。初めに、新たに理事に就任した株式会社大平教材社の大平社長にお話を伺った。

同社は昭和20年に大平社長の父親が起業。文房具やワークブックを学校向けに販売する小さな文具屋からスタートした。昭和60年に大平社長が3代目の代表取締役に就任。現在は学校の教育設備品のほか保育用品や介護福祉用品など約2万点ものアイテムを取り揃える。青森市を中心に営業しており、昨年、創業70周年を迎えた老舗企業である。



株式会社大平教材社
代表取締役
大平 幹夫 氏

「当社は、お客様との信頼関係を第一に考えている。そのため、要望に細かく対応できる体制を整えており、老人施設用特殊浴槽の導入から行事で使うお菓子の詰合せなど、どんな相談でも歓迎している。納入した設備のアフターサービスもメーカーと連携して迅速に対応。商売は得をするために行うが、自分だけではなく相手にも何らかの形で返していく循環性が大切。商売を通じて人徳を磨くことも必要であり、人と人との繋がりは何にも変え難い」と強く語った。

「現在は、お客様の信頼関係を第一に考えている。そのため、要望に細かく対応できる体制を整えており、老人施設用特殊浴槽の導入から行事で使うお菓子の詰合せなど、どんな相談でも歓迎している。納入した設備のアフターサービスもメーカーと連携して迅速に対応。商売は得をするために行うが、自分だけではなく相手にも何らかの形で返していく循環性が大切。商売を通じて人徳を磨くことも必要であり、人と人との繋がりは何にも変え難い」と強く語った。

「毎日の楽しみは、ほどほどの晩酌。健康面で特に気をつけていることはないが、お蔭様でこれまで大病もなく、毎日が充実している」と笑う。

「現在、教育の場でもICT化が進んできており、タブレットを使ったデジタル教科書や、パソコン

「現在、教育の場でもICT化が進んできており、タブレットを使ったデジタル教科書や、パソコン

最後に、明治大学校友会の青森県支部長を務める同氏は、「校友会では様々な活動を行っており、只今会員募集中。明治大学卒業生は是非連絡して欲しい」と笑顔で締めくくり、周知活動も欠かさない。(68歳)

編集後記

一面でお伝えしましたが、27年度の当組合のリサイクル率が61.7%と、これまで最高の59%(20年度)を上回ることができました。▼平成14年度に紙類リサイクルを開始しリサイクル率21.6%から環境事業に取組んで以来の数字です。ここまで組合員の皆様からご協力いただけるようになることは、まさに感慨深いものがあります▼転話題。先号で紹介した宗教学者・島田裕巳著「宗教消滅」の続きです。▼前回、新宗教の信者数の減少をお伝えしましたが、実は既成宗教でも、高山野山の法会参加者や伊勢神宮の参拝者数が大幅に減っていることが指摘されています▼ではなぜ、そうなったのかについて。著者は何より、「資本主義」というあり方と宗教の興廃とは密接な関係をもっているとしています▼人類の歴史は「経済」「宗教」「政治」の二つの軸で展開され、世界の宗教事情を読み解くにはこの視点が欠かせないといえます▼つまり、「経済状況が不安定になると、宗教の力が大きくなり、拡大した宗教は政治に向かう」ということです▼日本の宗教、とりわけ新宗教の信者数の増減は、「高度経済成長」と不可分の関係にあるというのが著者の主張です▼先進国の無宗教化をもたらした資本主義の高度化は他の国々でも加速度的に進んでいます。「そうなれば、宗教に代わって、先進国と同じ道をたどっていくことになる」とそれは、イスラム教のあり方を変容させていくに違いない」と著者はみています。(藤本)

青森県内の皆様のため



最良の医療機器を提供する



株式会社 北斗医理科

医療機器・病院設備機器・医薬品

本社
〒036-8093 青森県弘前市大字城東中央3丁目3番地3
TEL (0172)28-5161 FAX (0172)28-5162
http://www.hokuto-irika.jp/

青森営業所	〒030-0131	青森県青森市問屋町2丁目13番8号	TEL (017) 764-4121	FAX (017) 728-4131
八戸営業所	〒039-1103	青森県八戸市大字長岳代字上碓田4-16ビュアハイツII-G	TEL (0178) 27-8144	FAX (0178) 51-8254
五所川原出張所	〒037-0053	青森県五所川原市布屋町3番地2	TEL (0173) 38-4151	FAX (0173) 38-4152
むつ出張所	〒035-0071	青森県むつ市小川町1丁目21番地43グリーンハイツ1号	TEL (0175) 31-1231	FAX (0175) 31-1232
住宅型有料老人ホーム 北斗桜ヶ丘	〒036-8241	青森県弘前市大字桜ヶ丘4丁目1番地5	TEL (0172) 87-9471	FAX (0172) 87-9472
居宅介護支援事業所 北斗桜ヶ丘	〒036-8241	青森県弘前市大字桜ヶ丘4丁目1番地5	TEL (0172) 87-9471	FAX (0172) 87-9472
訪問介護事業所 北斗桜ヶ丘	〒036-8093	青森県弘前市大字城東中央3丁目3番地3	TEL (0172) 88-7541	FAX (0172) 88-7542